

## 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の 自己評価について

### 1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）により支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業実施の確認及び自己評価を行い、その結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに中部運輸局に報告することとされています。

本年度も次の路線（系統）について支援を受けていますので、自己評価について協議をお願いいたします。

### 2 対象路線（地域内フィーダー系統）

No.	補助対象事業者等	路線名	運行形態
1	秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	自主運行バス
2	遠鉄タクシー(株)	宇刈地区	予約型乗合（デマンド） タクシー
3		浅羽南地区	
4		浅羽西地区	
5	袋井交通（株）、 袋井タクシー（株）	袋井東地区タクシー	地域タクシー

### 3 自己評価期間

令和6年10月1日から令和7年9月30日まで

#### 4 目標に対する運行実績・今後の対応方針

##### (1) 秋葉バスサービス(株)

【目標：1日当たりの利用者数】

No.	路線名	R6年度 (R5.10～R6.9) 実績値	R7年度 (R6.10～R7.9) 目標値	R7年度 (R6.10～R7.9) 実績値	達成状況
①	袋井駅・中東遠 総合医療センター線	67.7人/日 (16,441人)	65.5人/日	64.9人/日 (15,760人)	未達成

R5.10月～R6.3月：約60.9人/日

R6.4月～9月：約74.1人/日

R6.10月～R7.3月：約67.0人/日

R7.4月～9月：約62.8人/日

本路線の利用は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、R3.4月から、高校生の通学利用が可能となるよう一部路線・時刻を変更して以降、利用者数の増加が続いていたが、R7.4月に運行便数を往復各12本から往復各8本に減便して以降、利用者が減少している。利用者数が多い主要停留所4か所のうち中東遠医療センターを除く3か所（袋井駅前、袋井高校入口、愛野駅南口）からの乗車人数も前年度比9.4%減少し、目標が未達成となっている。

##### 【今後の対応方針】①

市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月に運行を開始し、R3.4月の運行経路等の改正により高校生の利用も定着してきている。R7.12月に袋井高校生へのアンケート調査を実施しており、高校生のニーズへの対応を検討するとともに、今後も引き続き、事業者や高校と連携した周知に努めるなど、利用促進に向けた取り組みを進める。

## (2) 遠鉄タクシー(株)

【目標：1日あたりの利用者数】

No.	路線名	R6年度 (R5.10～R6.9) 実績値	R7年度 (R6.10～R7.9) 目標値	R7年度 (R6.10～R7.9) 実績値	達成状況
②	予約型乗合(デマンド)タクシー 宇刈地区	2.8人/日 (416人)	2.8人/日	2.5人/日 (403人)	未達成
③	予約型乗合(デマンド)タクシー 浅羽南地区	4.0人/日 (848人)	3.8人/日	4.4人/日 (1,016人)	達成
④	予約型乗合(デマンド)タクシー 浅羽西地区	2.5人/日 (484人)	2.3人/日	2.3人/日 (503人)	達成

## ② 宇刈地区

R5.10月～R6.3月：約2.9人/日

R6.4月～9月：約2.7人/日

R6.10月～R7.3月：約2.4人/日

R7.4月～9月：約2.6人/日

## ③ 浅羽南地区

R5.10月～R6.3月：約4.3人/日

R6.4月～9月：約3.8人/日

R6.10月～R7.3月：約4.0人/日

R7.4月～9月：約4.4人/日

## ④ 浅羽西地区

R5.10月～R6.3月：約2.4人/日

R6.4月～9月：約2.6人/日

R6.10月～R7.3月：約2.3人/日

R7.4月～9月：約2.3人/日

昨年度から案内HPの見直しを行い、新たに電子申請による利用登録受付を開始するなどの利便性向上に努めるとともに、事業の継続性を考慮し、本年度から運賃改定(増額)を行った。

宇刈地区では、運賃改定が影響していると推察され、利用者数及び1日あたりの利用者数がともに減少し、目標が未達成となった。

浅羽南地区では、前年度比で利用者が20%増と大きく増加したことが、1日あたりの利用者増加に繋がり、目標を達成した。

浅羽西地区では、目標を達成したものの、前年度と比較すると、利用者数は増加したが、利用日が分散したことにより、1日あたりの利用者は減少している。

【今後の対応方針】②～④

今後利用が見込まれる高齢者を中心としたより多くの対象者に、登録方法及び利用方法の周知や分かりやすい案内（チラシ、HP等）を実施し、新規ユーザーの確保に努めていくとともに、周知の中で家族や友人との乗り合いによるお出かけをおすすめるなど、利用者増に加え乗合率の向上にも努めていく。

また、運転経歴証明書発行手数料の一部補助の案内の際に、運行対象地区にお住まいの方には、その場での説明・登録申請受付などを積極的に行っていく。

(3) 袋井交通(株)、袋井タクシー(株) 【目標：1日あたりの運行回数】

No.	路線名	R6年度 (R6.4～R6.9) 実績値	R7年度 (R6.10～R7.9) 目標値	R7年度 (R6.10～R7.9) 実績値	達成状況
⑤	袋井東地区タクシー	7.3回/日 (905回)	7.5回/日	7.2回/日 (1,755回)	未達成

R5.10月～R6.3月：運行なし

R6.4月～9月：約7.3回/日

R6.10月～R7.3月：約7.2回/日

R7.4月～9月：約7.3回/日

昨年度と比較して、新規登録者や利用者に大きな変動がない状況であることから路線が地域に定着したことが考えられる。昨年度から、利用希望が多い医療機関や、健康増進のためのスポーツ施設を目的地として追加したところ、リピーターが増えてきているが、目標には届かなかった。

【今後の対応方針】⑤

引き続き、登録者アンケートの実施及び、地域代表者・事業者との意見交換を行い、より良い路線となるよう努めるとともに、分かりやすい案内（チラシ、HP等）をし、新規ユーザーの確保に努めていく。

また、利用が多い通院や買物以外にも、健康増進や友人でのお出かけでの利用をおすすめするなど、利用者増に努めていく。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月7日

協議会名: 袋井市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり実 施されなかった場合には、理由 等記載】	A・B・C 評価
秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	事業者や高校と連携した 周知など、利用促進に向け た取組を実施した。	A 計画どおり実施された。	B 目標利用者数:65.5人/日 →実績数:64.9人/日	市内から中東遠総合医療センターへの 公共交通として、H25.5月に運行を開始 し、R3.4月の運行経路等の改正により 高校生の利用も定着してきている。 R7.12月に袋井高校生へのアンケート 調査を実施しており、高校生のニーズ への対応を検討するとともに、今後も引 き続き、事業者や高校と連携した周知 に努めるなど、利用促進に向けた取り 組を進める。
遠鉄タクシー(株)	以下の路線・地区において、予約型乗 合(デマンド)タクシーを運行 <宇刈地区> <浅羽南地区> <浅羽西地区>	各地区における今後利用 が見込まれる高齢者を中心 に、登録方法及び利用方法 の周知を実施した。	A 計画どおり実施された。	B <宇刈地区> 目標利用者数:2.8人/日 →実績2.5人/日 <浅羽南地区> 目標利用者数:3.8人/日 →実績4.4人/日 <浅羽西地区> 目標利用者数:2.3人/日 →実績2.3人/日	今後利用が見込まれる高齢者を中心と したより多くの対象者に、登録方法及び 利用方法の周知や分かりやすい案内 (チラシ、HP等)を実施し、新規ユー ザーの確保に努めていくとともに、周知 の中で家族や友人との乗り合いによる お出かけをおすすめするなど、利用者 増に加え乗合率の向上にも努めてい く。また、運転経歴証明書発行手数料 の一部補助の案内の際に、運行対象 地区にお住まいの方には、その場での 説明・登録申請受付などを積極的に 行っていく。
袋井交通(株)、 袋井タクシー(株)	袋井東地区タクシー	登録者アンケートの実施及 び、地域代表者・事業者との 意見交換を行うとともに、チ ラシやHP等によるわかりや すい周知を実施した。	A 計画どおり実施された。	B 目標運行回数:7.5回/日 →実績7.2回/日	引き続き、登録者アンケートの実施及 び、地域代表者・事業者との意見交換 を行い、より良い路線となるよう努め るとともに、分かりやすい案内(チラシ、H P等)をし、新規ユーザーの確保に努め ていく。また、利用が多い通院や買物 以外にも、健康増進や友人とのお出か けでの利用をおすすめするなど、利用 者増に努めていく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月7日

協議会名:	袋井市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>袋井市地域公共交通計画(令和3年3月策定)の基本方針である「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するため、特に高齢者と高校生を対象として、公共交通に対する認識を高めることで、公共交通が必要となった時に気軽に使えるサービスの提供を目指す。</p> <p>上記の基本方針に基づき、以下の目標を定め、「運行」「サービス」「関係者意識」のレベルアップを図る事業に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民に日常から認識してもらえる公共交通</li> <li>2 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通</li> <li>3 地域で支え合う公共交通</li> </ol>